

入 選

私たちは蛇口をひねれば水がでる

下館中学校

二年 飯 島 麻 加

「キュ」っと蛇口をひねれば水がでます。そこから安全でおいしい水を飲むことだってできます。この水で手を洗うことも、歯をみがくことも、もちろんできます。この、日常生活の些細な行動を当たり前だと思っている人も多いのではないのでしょうか。ですが、私たちは、それがあるとないとじゃ生活が大きく変わってきます。

アフリカでは、水を得るために何時間も歩き続けている人がいます。今、この瞬間もそのような人があるかもしれません。世界には二十一億人、十人に三人が安全な水が入手できない状況にあるのが現実です。水をくみに行くのに、毎日五時間かけるという場所があります。二十四時間のうちの五時間水く

みがあるため学校に行けない子たちも多くいるのです。水くみは、女性や子供の仕事のため、とても時間がかかってしまうのです。アフリカの水のない地域で水道から水が出れば、水くみに行っていた子供も、学校や友達と遊ぶことなど、自分のために使う時間ができると思います。なんとなく見ていた、『アフリカに水を。』というCMの意見を理解することができ、NGOの活動に、少しでも協力できたらしいな。と思いました。

ですが、世界には、水道から水が出るからといって、全て安全というわけではないのです。私は、去年フィリピンに家族旅行へ行ってきました。果物もおいしくて、海もとてもきれいでした。また水道から水もでます。が、その水道から出る水を飲んではいけない。と言われました。疑問に思った私は、理由を聞くと、おなかを下す危険があると言われました。お店で出された水や氷は水道水の水かもしれないので、飲まないように言われ、水はペットボトルの水しか飲むではいけませんでした。そんなことがあるのかとすぐおどろきました。フィリピンは、

経済格差があるため、生きのびるために、水道水を飲まなくてはいけない人もいます。不衛生な水によって病気にかかってしまう人もいます。フィリピンのような、水道から水がでて、それが飲めないということは、浄化施設が整っていないことかなんだろうと私は思いました。

日本の浄化施設は、かなりすごいと思います。小学生のときに、浄水場見学に行きました。ろ過体験や薬を実際にまぜるなどの体験ができました。川や湖などの水を、ろ過し、いろいろな薬品を使ってきれいにし、水道に送る。と話をきいて、なに気なく飲んでいた水道水がたっさんの人と技術によって、安全で清潔な水として、私たちのところまで届く。ということが、とてもすごいなと思いました。

私は、この作文を通して、たっさんの事を調べることができました。アフリカなどの子供たちが、完全に安心して水が飲めるようになるには、日本としては、その地域への協力。それをするためには、個人個人が、協力して助け合うということが大切です。また水は限りあるものです。手を洗うとき、水をだ

しっぱなしにすると、5リットルぐらいの水が無駄になります。シャワーやせんたく、歯をみがく時など小さなことでも少し気をつければ節水になると思います。私が今できることは、節水と、募金、そして一番大切なのは、今の世界の水の現状を目をそばさず、少しずつ知っていくことだと思います。また、この現状を多くの人に知ってもらえば、アフリカなどの子供たちも安心して、水道の水が飲める日が来ることを私は願っています。